サメは海のハンター。その攻撃力は…

夏の海水浴場に突如現れたサメが、人に襲いかかる。最大の武器である歯がズラリと並んだアゴに恐怖はさらにつのる。

「ジョーズ」はスピルバーグの出世作。迫力のある映像と音楽でサメの恐怖を描いた、一級の海洋パニック映画である。

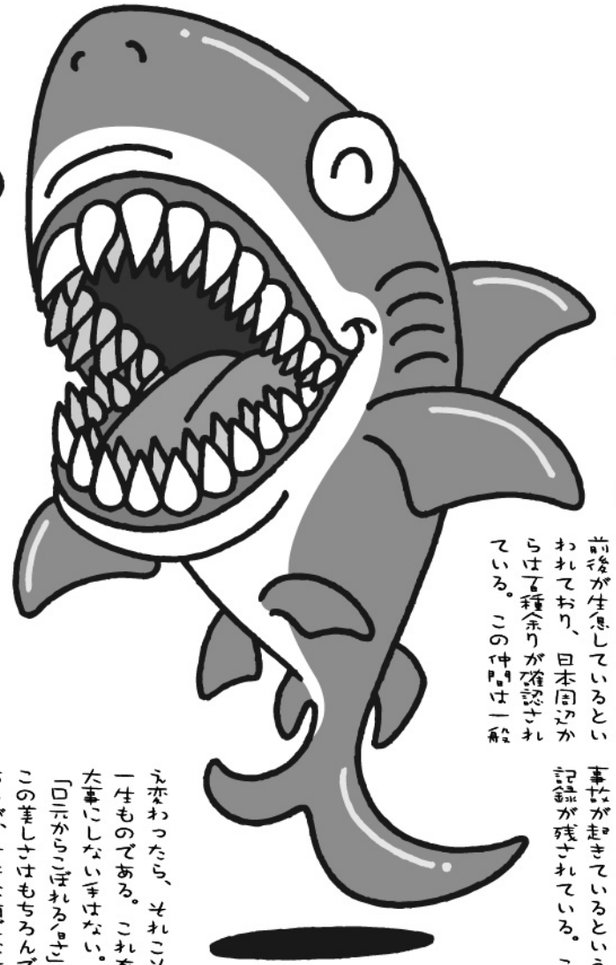
確かに、古今東西を問わず、サメほど恐れられている海の生物はいない。「海の殺し屋」と呼ばれるほど、人々の恐怖の対象だった。

北海道の縄文遺跡の頭骨からは、一般者の頭やあたりからサメの歯飾りが発掘されている。これは一種の信仰の品だったらしい。当時の人々にとってサメは危険で恐ろしい生物である一方、その強靭なまでの生命力はおそらく信仰に結びついていたにちがいない。

この海のハンターが地球上に最初に現れたのは、今から三億年ほど前のこと。世界に三百種前後が生息しているといわれており、日本周辺からは百種余りが確認されている。この仲間は一般にどう猛で危険な魚といわれているが、実際に人間に危害を加えた記録があるのは約三十種。「ジョーズ」に登場したホオジロザメがその代表である。アザラシやオットセイなどの大型の海獣を切り裂いて食べるほど、強靭な歯の持ち主である。

しかし、「人食いザメ」として恐れられるホオジロザメも実際に人を襲うことはきわめてまれだ。世界でも年に数件、日本では三年に一度の割合で事故が起きているという記録が残されている。このんなレアケースでも世界の巨匠、スピルバーグが映画化するくらいだから、サメへの恐怖心はやはり言語に尽くしがたいものがある。そしてその攻撃力は、発達した両アゴにギッシリ並んだ歯並びにあった。

強靭な歯並びにあった。



タくのサメは獲物に食いついた時に、離れにくいように内側に傾いた三角形の歯が、両アゴにたくさん並んでいる。この歯の奥には六～十列の予備の歯があり、歯が折れたりかけたりすると、ベルトコンベア式に出てくる仕組みになっている。一生のうちに約三万本もの歯を使うサメがいるというから驚きだ。この予備の歯が「代生歯」である。

人間の永久歯もまた「代生歯」である。しかしサメのように予備はない。乳歯から永久歯に生え変わったら、それこそ一生ものである。これを大事にしない手はない。「口元からこぼれる白さ」。この美しさはもちろんであるが、丈夫な歯でなければ食べる楽しみも半減してしまう。むし歯や歯槽膿漏で、健康でなくなった歯では、発音や消化器に影響を与えることもある。美しい歯並びは表情を豊かにするだけではなく、人間の健康にとっても大切な役割を果たしているのだ。だからこそ、歯は大切にしたい。悲しいかな、サメのように予備の歯をもたないからである。

http://www.ortho.gr.jp/
〒460-0022 名古屋市中区金山1-1-11 ジャルダンシャポー 2F
TEL 052-321-5580
中日本矯正歯科医会事務局

関連するホームページは

日本臨床矯正歯科医会
http://www02.so-net.ne.jp/~ hahaha/

中日本矯正歯科医会
Orthodontists' Group of Central Japan